

子どもたちのための平和学習 「平和紙芝居」

今年は終戦から数えると68年目の年になります。だんだん遠くなっていく、あの戦争。戦争体験の風化が叫ばれる今だからこそ、次代を担う子どもたちにどう戦争を伝えていくのか。ピースおおさかでは、ボランティアの皆さんのご協力により、子どもたちにも親しみやすいかたちで平和を考えてもらえるよう、紙芝居を定期的に開催しています。

あなたもぜひ、ご参加ください。



★毎月第1木曜日10:00～10:20
学童疎開ものがたり「おかあちゃん迎えに来て」
自分の体験を伝えます。
【演者】吉田 房彦さん



★毎月第2木曜日10:00～10:20
「平和と心の紙芝居(空襲や原爆など)」
平和の心を伝えます。
【演者】青空みかさんと
その紙芝居の会の皆さん



★毎月第3金曜日10:00～10:20
疎開と空襲「私の戦争体験」
手品もやります☆
【演者】秋山 美代子さん



★毎月第4金曜日10:00～10:20
学童疎開ものがたり「戦争に勝つために」
女の子の学童疎開の物語です。
【演者】佐野 悦子さん

※演者の都合により変更することあり。

ご利用あない



▲1t爆弾(模型。展示室A)

■ 戦争や平和について学ぶ

「大阪空襲と人々の生活」「15年戦争」「平和の希求」をテーマにした3つの常設展示室や「刻の庭」(大阪空襲で亡くなられた方々を追悼し平和を祈念する場)で戦争や平和のことを学べます。

■ 見る

「学童疎開 十六地藏物語」等の定時上映や、約2,000本のDVDやビデオを視聴できます。



▲館内視聴用DVD

■ 調べる

3万冊に及び戦争と平和に関する図書・資料があります。夏休みの調べ学習などにどうぞご活用ください。

■ 借りる

学校・団体向けに、平和教材としてビデオ・DVD・16mmフィルム、パネル、紙芝居を無料で貸出しています。



▲「刻の庭」で空襲体験を語る講師

■ 戦争体験を聞く

「戦争体験の語り部」の講師を紹介しています。

■ 戦跡を歩く

モデルコースを紹介しています。ホームページからダウンロードすることもできます。

詳しくはピースおおさかHP
<http://www.peace-osaka.or.jp>
でもご覧いただけます。

◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

大阪市立自然史博物館 マッコウクジラの全身骨格

2010年5月、大阪湾にマッコウクジラの死体が浮いているのが見つかりました。大阪湾に大きなクジラが入ってくるのは稀ですが、過去にもナガスクジラやミンククジラなどいろいろなクジラが記録されています。マッコウクジラは、堺の埋立地に引き上げて処理され、そのホネは標本として保存するため大阪市立自然史博物館で引き取りました。砂場に埋めて肉を腐らせ、洗って乾かして、現在全身骨格を組み立てているところです。全長約9mの大人のメスのマッコウクジラです。巨大な歯が並ぶ口は、すごい迫力です。お腹の中からは、ダイオウイカをはじめ、さまざまなイカの嘴(くちばし)が出てきました。

(大阪市立自然史博物館学芸員 和田 岳)

※今回紹介したマッコウクジラの全身骨格は、きちんと組み立てられて、ダイオウイカの嘴と共に、特別展「いきもの いっぱい大阪湾」展(会期:7月20日(土)～10月14日(月・祝))で展示されます。

大阪市立自然史博物館 [所在地] 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 [TEL] 06-6697-6221 [FAX] 06-6697-6225
[アクセス] 地下鉄御堂筋線「長居」南改札口3号出口から東へ約800m。JR阪和線「長居」東出口から東へ約1km。
近鉄南大阪線「矢田」西へ約1.8km。 [ホームページ] <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>



組み立て作業中のマッコウクジラの頭骨

